

第3回都市計画分科会意見概要 要約版

No.	分類	意見等の概要
1	骨子案 めざすまちの姿	主語の記載の有無など全体として統一感が必要ではないか。
2		「災害に不安を覚えない」まちは、市民の防災意識が下がらないよう、記載内容を整理する必要がある。
3	土地利用	住工複合地については、今後の対応をもっと踏み込んで記載すべきではないか。
4		<ul style="list-style-type: none"> ・農地が虫食いの的に宅地とならないように、きめ細かな対応が必要ではないか。 ・都市部だからこそ農業で「稼げる」ということを記載してはどうか。 ・自販機の販売は需要があるため、設置場所が分かる地図を作成してはどうか。 ・住工複合地だけでなく、住農複合地があってもいいのではないか。
5	都市交通	「ウォークラブル重点地区」を指定できないか。 早く移動することだけでなく、楽しく移動できることが求められる。
6		自転車のまちづくりについては、拠点間を結ぶだけでなく、点と点を戦略的につなぐ必要がある。
7	分野別まちづくり	新たなモビリティを見据えた取組や一歩先取りしたウォークラブルなど、都市交通や市街地整備の方針の中でももう少し踏み込んだ記載があってもいいのではないか。
8		阪急塚口駅南側の駅前広場は、整備後も自転車通行がある状態である。駅前に楽しいと思えるものを作るなど工夫が必要である。
9		市営住宅におけるREHUL(リーフル)の取組のように、空き家を活用して「人と人をつなぐ」ことや、「稼ぐ」ことはできないか。利用したいという需要はあるのではないか。
10	都市防災	行政が行うハード整備の記載が多いが、意識啓発も含め、市民にも役割や取組があることを記載したほうがいいのではないか。
11		方針図の中に防災協力農地を記載してもいいのではないか。
12	方針図	広域的につなぐこと等、「つなぐ」に関して方針図に記載してはどうか。
13		市役所・生涯学習プラザは、方針図に記載した方がいいが、都市計画的な位置づけの整理は必要ではないか。